



千葉県議会報告

千葉県議会議員（緑区）
立憲民主・千葉民主の会

竹内 圭司

令和5年 10月号

発行人 千葉県議会議員 緑区 竹内 圭司
事務所 TEL 043-312-0024
FAX 043-312-0049
千葉県緑区おゆみ野中央 4-4-18
E-mail : infomation@ab.cyberhome.ne.jp
ご意見等ございましたら、ご連絡ください。

豪雨災害への対策など14項目

9月定例県議会で代表質問

9月定例県議会(9月13日～10月11日)が開催され、竹内圭司は9月20日に代表質問を行いました。その質問要旨と回答内容の一部を紹介します。



令和5年9月議会

質問項目

- ①豪雨災害への対策について
- ②知事の政治姿勢について
- ③千葉県版デジタル化について
- ④県職員へのカスタマーハラスメント対策について
- ⑤社会的養護が必要な子どもへの支援について
- ⑥妊婦健診について
- ⑦千葉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例の運用について
- ⑧有害鳥獣対策について
- ⑨地域経済の活性化について
- ⑩令和7年度の都市計画の見直しについて
- ⑪教職員によるわいせつセクハラ行為について
- ⑫県立学校でのコミュニティ・スクールの現状と今後の取組について
- ⑬新千葉県立図書館・県文書館複合施設について
- ⑭信号機の整備について

●豪雨災害への対策について



質問

今回の台風13号による被害があったが、流域治水プロジェクトの取組の状況およびその効果を県はどう認識していますか。

また台風13号による被害を踏まえて、一宮川水系の治水対策をどのように進めていくのですか。

大規模災害が発生した場合における、市町村による災害廃棄物の処理費用への財政支援は、どのようになっていますか。

回答

今回の大雨では、県内の広い範囲で河川の越水や土砂崩れなどが発生し、家屋の浸水、道路や農地の冠水、鉄道軌道敷の崩落など、多くの被害が生じました。

県では、被害状況の把握や応急対策に万全を期するため、速やかに災害対策本部を設置するとともに、土砂災害警戒情報が発表された市町村等にリエゾンを派遣したほか、ヘリコプターやドローンを活用して情報収集を行いました。

また、被害者支援として、茂原市など8市町に災害救助法を適用するとともに、特に被害の大きい地域には職員を派遣し、住家の被害状況の調査や罹災証明の交付、廃棄物の処理などの業務を支援しています。

今後も市町村と連携して、今なお不自由な思いをされている被災地域の人々にしっかりと寄り添い、県民生活の再建と事業活動

の再開、継続に向けた支援、インフラの早期復旧などに全庁を挙げて取り組んでいきます。

要望

茂原市では、県が約200億円かけて整備を進めている第二調節池では満水になっていたとのことで、これまでの県の取組により、被害を軽減することができたと評価しています。しかし、未調整のところから越水し、被害が発生したことも事実です。整備のスピードアップを要望します。今後、地元茂原市の意向や要望を十分反映できるよう議論を進め、整備方針の見直しに繋がっていただきたいと思います。今回の線状降水帯、記録的な降水量を踏まえ、県内全域の河川整備の在り方について見直していく必要があると思います。県内217ある県管理河川の越水によって浸水、家屋倒壊などがあってはなりません。全ての県管理河川において、今回の豪雨と同じ降水量でも耐えられるのかどうか、早急に見直すことを強く求めます。

